

大江山観光ルート／民泊でおはぎ作り…

地域再生アイデア多彩

「人材養成」受講生、24日成果報告



地域活性化に向けた具体的な企画を練る受講生ら（福知山市昭和町・府中丹勤労者福祉会館）

福知山

府北中部で地域活性化のリーターとなる人材を養成するため、地域公共人材開発機構（京都市）が昨年6月から開いてきた「地域コトおこし実践者講座」が今月で終了する。受講者からは、地域再生につなげようと、大江山の観光ルート開発など多様なアイデアが生まれ、具体的な動きも出ている。同機構は成果報告会を24日、福知山市の成美大で開く。

講座は機構の北部才直売所の運営▽地域のフィスが昨春、同大学仕事おこし▽修学旅行に設置されたのに合わせの受け入れ促進▽観光を始めた。亀岡市客誘致をテーマにグ以北の市町の住民ら約40人が参加している。き、具体的な取り組み受講生は、ほかにコ策を練ってきた。

ミニユニティー拠点の形 大江山ルート開発で成▽空き家定住対策▽は福知山市と宮津市に

住むメンバーが協力して観光ルートを整備し、冊子を製作する予定で、福知山市三和町では18日に軽トラ市の開催を企画している。舞鶴市ではおはぎ作りなどの体験コースを組み合わせた農家民泊や、亀岡市などで農業体験を取り入れた修学旅行の誘致も進んでいる。

コーディネーターの小鹿由加里さん（34）は「身近な地域でさまざまな取り組みが進んでいることを知ってもらい、活動の輪を広げたい」と話す。

報告会は午後1時から。参加申し込みは不要。問い合わせは地域公共人材開発機構北部オフィス ☎0773（45）3517。

（中尾悠希）

具体化進む企画も